

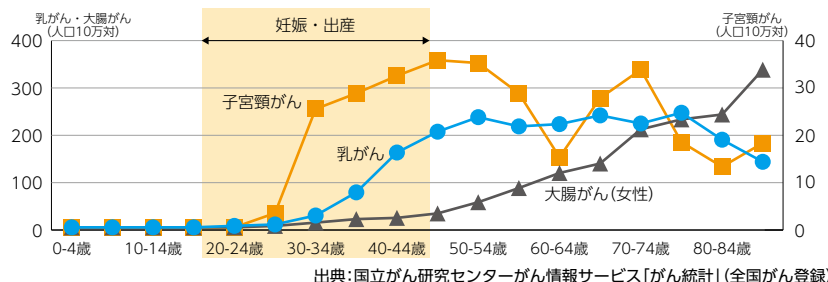
3月1日～3月8日は「女性の健康週間」です！

国では、3月1日から8日までを女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援する「女性の健康週間」に設定しています。この週間をきっかけに、自分のからだに目を向け、生活習慣を見直してみましょう。

県では、「女性にやさしい医療機関・薬局」「女性の健康づくり協力店」を指定しています。詳しくは県のホームページをご覧ください。

◆ 女性に多い代表的な病気 子宮頸がん・乳がん・大腸がんの年齢別の罹患状況

鹿児島県の年齢階級別罹患率(R元年)

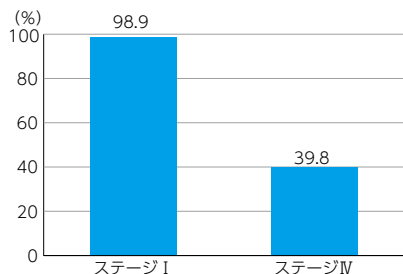


子宮頸がんは、20歳代から発症する人が増えています。
乳がんは40歳～70歳代に多く見られますが、若い人の発症も増えています。
子宮頸がんや乳がんは、妊娠・出産をする年代に発症する人が多くなっています。

【乳がん】

9人に1人の女性がかかるといわれています。
早期発見により治癒することも多いので、
40歳以上の方は2年に1回、乳がん検診を受けましょう。

乳がん(女性) 5年生存率



出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書2014-2015

【子宮頸がん】

初期は無症状ですが、がん検診で早期発見することができます。早期に発見することで、妊娠・出産も可能です。

子宮頸がんのほとんどはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因で、セックスの経験がある人は誰でも感染する可能性があります。

HPV感染を予防できるHPVワクチン接種は、定期接種となっていますので、小学6年生から高校1年生相当年齢の女子は無料で接種を受けることができます。予防接種を受けるかどうかは、ワクチンの有効性とリスクを理解した上でご判断ください。

20歳以上の方は1年に1回、
子宮頸がん検診を受けましょう。



大腸がん検診を受けていますか？ ～3月は国際的な大腸がんの啓発月間です～

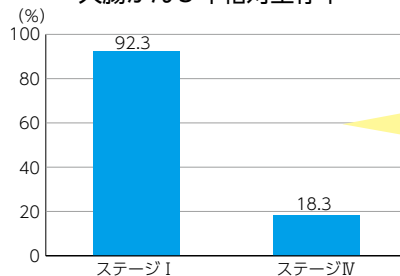
◆ かかりやすいがんの順位

	1位	2位	3位
男性	前立腺	大腸	肺
女性	乳房	大腸	肺

(鹿児島県の罹患数:R元年全国がん登録)

男女とも大腸がんにかかる人は多く、特に40代以降にかかる人が増えています。

大腸がん 5年相対生存率



早期に発見できれば治る可能性も高くなります！
そのためには、がん検診を受けましょう！

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書2014-2015

◆40歳以上の方は、年に1回は大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんの検診は、便潜血検査を行います。大腸がんは、早期のうちほとんど自覚症状がありません。検診で「要精密」となった場合は、必ず精密検査を受けましょう！！

各市町村がん検診窓口一覧(鹿児島県ホームページ)⇒



知っていますか？ CKD(慢性腎臓病)

CKDとは、腎臓の機能が慢性的に低下したり、蛋白尿が続いたりするなど腎臓の異常があることをいいます。

- (① 0.15g/gCr以上の蛋白尿など腎臓の異常がある } ①, ②のいずれか、または両方が)
(② GFR(糸球体ろ過量)が60ml/分/1.73m²未満 } 3カ月以上持続する状態)

悪化すると、人工透析が必要となる場合があります。また、心筋梗塞や脳卒中などの生命に関わる病気の危険因子にもなります！

成人の約8人に1人がCKD患者

こんな人は要注意!!



高齢者



高血圧や糖尿病、肥満などの生活習慣病やメタボリックシンドロームがある



過去に心臓病や腎臓病になったことがある



健診などでたんぱく尿が見つかったことがある



たばこを吸っている



家族に腎臓病の人がいる

CKD予防は生活習慣の改善から始めましょう！

① 規則正しい生活
④ 禁煙

② バランスの良い食事
⑤ 適度な運動

③ 減塩
⑥ 定期的な健診

鹿児島県 健康増進課 <http://www.pref.kagoshima.jp/ae06/ckd.html>

3月24日は「世界結核デー」です!

○ 「世界結核デー」とは?

「世界結核デー」(World TB Day)は、1882年3月24日のコッホ博士による結核菌発見の発表を記念し、世界の結核根絶への誓いを新たにするために1997年に制定されました。それ以降、毎年3月24日前後に世界でイベント等が開催されています。



○ 結核は現代の病気です。

結核は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気ではありません！日本国内では、今でも1日に32人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている重大な感染症です。



- ・ タンのからむ咳が2週間以上続く
- ・ 微熱・身体のだるさが2週間以上続く

このような症状がある場合には、結核を疑って早めに医療機関を受診しましょう！
高齢の方は、症状が出ないことがあります。年に一度は健康診断を受けましょう。

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課

ひとりで悩まないで～自殺予防のために～

最新の人口動態統計によると、令和4年の自殺者数は全国では約2万人、本県においても315人の方が自ら命を絶っています。

自殺の原因は複雑で、その背景には、こころや体の健康問題、経済・生活問題、家庭問題のほか、人生観・価値観や地域・職場環境をはじめ、昨今では、新型コロナウイルス感染症など、様々な社会的要因が複雑に関係しています。

県内には、県自殺予防情報センター(県精神保健福祉センター内)をはじめ、最寄りの保健所や市町村などに多くの相談窓口が設置されています。悩みを抱えている方は、決して1人で悩まずに、まずは誰かに相談しましょう。

【相談窓口】

- ・県自殺予防情報センター 電話:099-228-9558
(午前9時00分～正午、午後1時00分～4時00分/月・木)
- ・県精神保健福祉センター 電話:099-218-4755
(午前8時30分～正午、午後1時00分～5時00分/月～金)
- ・こころの電話 電話:099-228-9566・9567
(午前9時00分～正午、午後1時00分～4時30分/月～金)
- ・鹿児島いのちの電話 電話:099-250-7000
(24時間/365日)
- ・各保健所 ・各市町村

